

同時発表：経済産業省

令和4年9月15日  
海事局海洋・環境政策課**更なる内航海運の省エネルギー化に向けて1件の船型開発事業を採択しました**

国土交通省及び経済産業省は、令和4年度「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（内航船の革新的運航効率化実証事業（標準的省エネルギー船舶開発調査）」の2次公募を実施し、外部有識者からなる審査委員会の審査を経て、1件の事業を採択しました。

- 国土交通省及び経済産業省は、令和4年8月10日から9月1日にかけて、「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（内航船の革新的運航効率化実証事業（標準的省エネルギー船舶開発調査）」<sup>※1</sup>の公募を実施しました。
- 今般、外部有識者により構成された審査委員会において、事業者より応募のあった提案について審査を行った結果、1件の事業を採択しました。（別紙：採択事業）
- 本事業では、標準的な省エネ船型の開発を行うとともに、開発した船型について省エネ性能の検証を行うこととしており、本事業で得られる省エネ性能等の情報については、「連携型省エネ船」の検討に取り入れていくことを予定しています。

※1 内航海運の省エネルギー化を推進するため、連携型エネルギー船舶の標準的な船型の開発を実施する事業者に対し、事業実施に必要な開発調査費を補助（補助率：定額）。

**【問い合わせ先】**海事局 海洋・環境政策課 宮岡、齊藤  
（代表）03-5253-8111（内線）43-952、43-934  
（直通）03-5253-8614（FAX）03-5253-1644

令和4年度 AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金  
(内航船の革新的運航効率化実証事業)

## 採択事業

## ＜新規採択事業①＞

事業者名	三菱造船株式会社
事業名称	蓄電池を利用したハイブリッド電気推進 499 総トン一般貨物船及び 499 総トンタンカー標準船型の開発
事業概要	蓄電池を利用したハイブリッド電気推進を採用した総トン数 499 トンの一般貨物船及び総トン数 499 トンのタンカーの標準船型を開発し、内航海運業界が抱える脱炭素化を通して、船員の労働環境改善等の課題解決にも貢献する事業

※ 事業名称は、事業者からの申請に基づくものです。